



県政報告 Vol.21

2023.7月発行



愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol.21」をお届けします。7月14日に発行した「Vol.20」では、6月定例会の前半部分として本会議での一般質問までをお伝えしました。今回の「Vol.21」では後半部分として、所管委員会での発言や本会議最終日などの内容をお伝えします。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



6.27 火 所属する委員会で一般質問を行いました

私

が所属する県民環境委員会が開催されました。

県民環境委員会は、文化芸術の振興や多文化共生社会づくり、女性の活躍促進に向けた取り組みの推進など「人が輝くあいち」実現のための施策を所管する県民文化局、地球温暖化対策・循環型社会形成の推進・生物多様性の保全を施策の3本柱とする環境局の2つの局を担当しています。

その中で私は次の2件の一般質問を行いました。

①私立学校におけるラーケーションの導入に向けた実施体制の整備について

今回の補正予算でラーケーションを導入する公立学校にはその実施体制整備のため6億8700万余円の予算が付いていますが、私立学校にはその予算が付いていません。その理由を質したところ「私立学校のラーケーション導入については、自主性を尊重し、実施の如何は各学校の判断に委ねられており、現在のところラーケーションを導入する私立学校は確認できていない」との答弁でした。

ところで、この「ラーケーション」という言葉、聞き慣れない方も多いかと思いますので少し説明をしますと…

「ラーケーション」というのはラーニング(学習)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、愛知県が「休み方改革」プロジェクトの一環として行っているもので、家族の休みに合わせて子供が学校外で活動できる仕組みです。

子供たちが保護者とともに、校外(家庭や地域)で、体験や探求の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる「ラーケーションの日(校外学習活動の日)」を年3日までとることが出来るものです。(まとめてとることも可)



保護者等の休暇に合わせて「ラーケーションの日」を取得して、一緒に社会学習を楽しむ事も可能です。また、「ラーケーションの日」は校外での自主学習活動であることから、学校に登校しなくても欠席とはなりません。「ラーケーションの日」をとったことで受けられなかった授業の内容は、家庭において、事前あるいは事後に教科書等を用いて自習することになります。

このような「家族と子どもが一緒に過ごす仕組みづくり」としてはもう一つ「県民の日学校ホリデー」があります。こちらは、11月21日から27日までの「あいちウィーク」の期間の1日を愛知県内の公立学校が「県民の日学校ホリデー」に指定して、新たな休業日を創設するものです。

②LGBT理解増進法が施行されたことに伴う県の対応について

LGBT理解増進法が施行されたことに伴う県の対応について質したところ「愛知県は昨年4月に愛知県人権尊重の社会づくり条例を制定しており、その中で性的指向及び性自認の多様性についての理解の増進等が既に規定されており、法律に先んじて条例に基づいて性の多様性に関する様々な取り組みを行っているので、法律の成立に伴う対応は現時点では考えていない」との答弁でした。

7.3 月

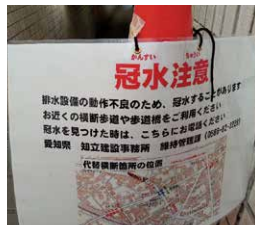
頼りにしてます、知立建設事務所

朝

一番、知立建設事務所へ。「桜町交差点地下道の冠水」と「河川敷への不法投棄」について話し合いをするためです。

①桜町交差点地下道の冠水

大雨が降った翌日でも水が引かずに、つま先を立てて歩かなければ靴が濡れてしまう状態です。排水ポンプが故障していて現在その部品を取り寄せているとのこと。早期の修理を強く要請しました。



②河川敷への不法投棄

ボランティアで逢妻川・境川・猿渡川のごみ拾いをして下さっているグループが、大型家電・古タイヤなどの不法投棄に悩まされています。以前、警告の看板は立てて貰ったのですが、一向に改善されません。防犯カメラの設置を要望しました。



7.5 水

志高く「地方から国を変えて行こう」

い

いつものようにミササガパークでのラジオ体操から1日のスタートです。今日はコグニクラブの皆さんも来られていましたので、駐車場が満車になるほど大勢の方で賑わっていました。

その後、モーニングを食べながらのミニ県政報告会。八幡町の皆さんの集まりということで「八幡会」という名前で行っています。私が呼び掛けたのではなく、ありがたいことに有志の皆さんが自主的に集まって定期的に開催して下さっています。7月14日に発行予定の「県政報告Vol.20」の早刷り版を使っ



ての報告です。

途中で退席をして東京に向かいました。早稲田大学の大隈講堂で開催されている『全国地方議会サミット2023』に参加するためです。



「変わる社会・デジタル・新しい民主主義～激変する時代に対応する社会基盤としての議会を実装する～」をテーマに、専門家の講演の他に各地の議会での実践事例が紹介されています。

社会の激変に地方議会が的確に対応し、地方から国を変えて行こうといった高い志の議員が集まっています。

7.6 木

6月定例愛知県議会の最終日です

6

月19日に開会した6月定例会も今日が最終日です。開会日に上程された議案に加え、6月2日の豪雨被害に対する追加の補正予算も全て可決承認されました。

開会日に上程された補正予算には、少子化対策パッケージ、ラーケーション導入に向けた体制整備、特別支援学校の新設などに必要な経費として合計22億4,216万円が計上されています。

主な補正予算としては…

◎出産・子育て支援の取組強化による「少子化対策パッ

ケージ」

- ◎先進技術を活用したスマートシティのモデルとなる取組の追加公募
- ◎行政課題の解決に資するICTの導入によるDXの取組の加速
- ◎PFI手法による愛知県基幹的広域防災拠点の整備に関する債務負担行為の設定(物価高騰等を加味した事業条件の見直しに伴うもの)
- ◎第24回日中韓三カ国環境大臣会合の開催支援
- ◎「あいちモビリティノベーションプロジェクト」の推進
- ◎「矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクト」の豊川流域を含めた三河全域での展開
- ◎小中高及び特別支援学校におけるラーケーション導入

に向けた実施体制の整備

◎肢体不自由特別支援学校の長時間通学の解消及び知的障害特別支援学校の教室不足の解消(名古屋東部地区及び西三河北部地区の特別支援学校新設)

◎豊橋浄水場の再整備の推進

このうち、愛知県が独自に行う「少子化対策パッケージ」の概要を紹介します。

愛知県「少子化対策パッケージ」の事業の概要

①男性の育児休業取得を促進する中小企業等への支援

【414,716千円】

●男性従業員が育児休業を取得した中小企業等に対する奨励金の支給

- 支給対象
男性従業員が通算14日以上育児休業を取得した県内中小企業等
- 支給額
通算14日以上：50万円、通算28日以上：100万円
(1事業者につき1回限り)



【労働局】

②低所得世帯への子育て支援

【619,377千円】

●出産・子育て応援交付金の拡充

- 2022年度から開始した国の制度である、妊娠から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する「出産・子育て応援交付金」の給付事業について、県独自に低所得世帯を対象とし拡充



時期	給付金	備考
妊娠	5万円	国制度
出産	5万円	国制度
1歳6か月児健康診査	5万円	県独自
3歳児健康診査	5万円	県独自

【福祉局】

③さまざまな問題を抱える妊産婦への支援

【21,630千円(再掲除く)】

●精神的サポート

- SNSを活用した相談支援及び産科受診同行等のアウトリーチ型相談支援の実施等

●経済的サポート

- 出産・子育て応援交付金の拡充(再掲)等

●里親制度等の活用

- 里親制度や相談窓口を周知するカードの配布やインターネット広告の実施

【福祉局・保健医療局】

④結婚を希望する男女の出会いサポート

【39,078千円(5月臨時議会で予算措置済み)】

●県主催婚活イベントの開催

- 県主催イベントとして、スポーツや音楽イベントの観戦・鑑賞等に合わせるなど、婚活イベントを複数回開催

●民間婚活イベントへの支援

- 出会い応援団が企画するイベントに対する助成

●出会いサポートポータルサイト「あいこんナビ」の活性化

- 出会い応援団や婚活協力団体の新規開拓、婚活イベントを未実施の市町村への働きかけ等によりあいこんナビを活性化等

【福祉局】

この4つの事業のうち④については既に5月臨時議会において補正予算を議決していますのでそれ以外の3つの事業について、総額10億5,500万円余の補正予算が6月定例会において可決しました。

「愛知県基幹的広域防災拠点の整備」についても詳しく説明します…

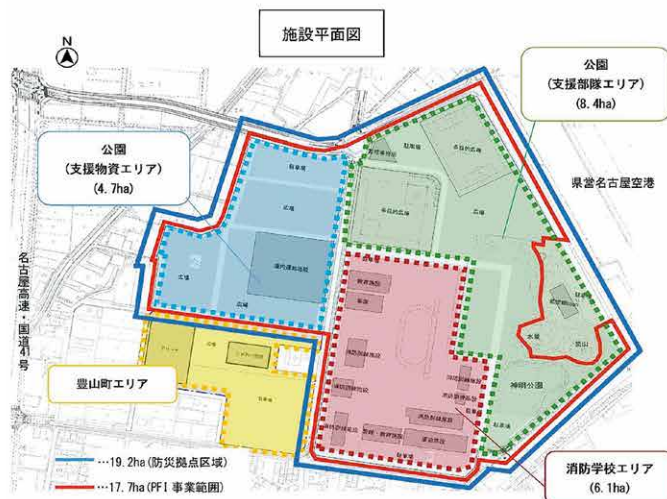
「愛知県基幹的広域防災拠点の整備」については2021年11月の基本構想・計画の発表以降、PFI事業者の選定を進めて来ましたが、複数事業者から入札参加表明があったのですが、その後の急激な物価高騰等を理由に辞退したため、費用やスケジュール等を見直した上で再入札を行うことにしたのです。

今回PFI事業者を再募集するにあたり、物価高騰や賃金上昇を踏まえ、27億3,473万円の債務負担行為の増額補正案が6月定例会議に提出されることになったものです。これにより、債務負担行為額は総額で214億4,000万余円となります。

予算の内訳は、施設整備費で約182億円、維持管理・運営費で約32億円を見込んでいます。全体事業費につい

ては、昨年9月の「基本的な考え方」の発表時点の約330億円から約350億円へ増額を見込んでいます。

2024年4月に事業者を選定し7月に本契約を締結する予定で、当初の予定から1年の延長となりますが、2026年度末の完成、2027年4月の全面開業を目指しています。



【参考】

▶ 全体事業費(施設整備費及び用地・造成費等)
約330億円～約350億円(ほかに関連(河川・道路)事業費約100億円)

また、6月2日の大雨で被災した施設の早期復旧に向けて51億5,711万5千円の追加の補正予算(外に債務負担行為21億8,520万円)も可決しました。

追加の補正予算の内容としては・・・

- 道路等公共土木施設の復旧 38億5,125万円(外に債務負担行為21億8,520万円)
- 農地等農林水産関連施設の復旧 11億4,773万6千円
- 社会福祉施設の復旧 1億5,812万9千円

被災者の生活再建と被災地域の復旧・復興が一刻も早く進むよう祈っています。

そして、昼の休憩時間には「ボーイスカウト振興愛知県議会議員懇談会」が、本会議終了後は「アジア・アジアパラ競技大会推進愛知県議会議員連盟設立総会」「中部国際空港拡充愛知県議会議員連盟設立総会」「日越友好愛知県議会議員連盟設立総会」が開催され、私は全てに参加しました。



7.7 金

衣浦大橋の架け替えに向けて要望活動

衣

浦大橋整備促進期成同盟会の愛知県への要望会に出席しました。

衣浦大橋については、今年3月に西行き(高浜⇒半田)方面の左折専用レーンが供用開始となりました。今後は、昭和31年に開通して既に67年を経過した北側トラス橋の老朽化と、5.5m内に2車線という狭い幅員の改善が喫緊の課題です。現在行われている、高浜側立体交差の前後区間における4車線化の完成と共に、トラス橋の架け替えという根本的な対策が必要不可欠です。



7.10 月

愛知県庁の工事が行われています

グ

ラウンドゴルフの皆様へ挨拶をさせて頂いた後、「県政報告Vol.20」を配布。その後、プレーもご一緒しました。いつもは午後1時からやっておられるのですが、夏場は暑さ対策のため朝8時半からの開催に。それでも暑くてたまりません(*_*) 皆さん熱中症にはくれぐれも気を付けてお楽しみ下さい。

その後、当局と打ち合わせのために県庁へ。現在県庁では老朽化が進む本庁舎の銅板屋根のふき替え工事を行っています。2月定例会で可決した本年度当社予算に計上されていたもので、次のようなスケジュールで修理を行います。

<スケジュール(予定)>

- 2023年度:北屋根、西屋根修理
- 2024年度:北屋根、西屋根、南屋根修理
- 2025年度:西屋根、南屋根修理



①北、②西、③南屋根(四角囲み部分)の順に、素屋根(自立式足場)を設置し、銅板屋根の葺き替え作業を行います。

その他、本庁舎のトイレの改修やコンビニの導入も計画されていますが、何せ国の重要文化財に指定されていますから、スケジュールの中に必ず「文化庁との協議」という文言が入ってきます。

